

No. 1813
2022年
10月24日
月曜日発行

ひろしま北 民商ニュース

発行所 広島北民主商工会
広島市安佐南区緑井
6丁目12番10号
TEL 879-4060
FAX 879-4064
E-mail: kitaminsyou@yahoo.co.jp

自主記帳・自主計算
自主申告を貫こう!



広島銀行を皮切りに金融機関懇談

融資相談、中小業者支援、
地域経済振興や事業承継など

広島県内に本店を置く全ての金融機関に対し、民商・県連が毎年おこなっている金融機関本店懇談、今年も広島銀行を皮切りにとりくみが始まりました。

10月13日(木)午後、広島銀行との懇談には、北民商の寺本要求運動部長と陶山事務局長の2名を含む5名が参加。広島銀行は法人企画部の加計法人企画室長ら5名が応対しました。事前の申し入れに対する回答を伺い、参加者からは中小業者の実情も話し、地域経済を守る立場での更なる支援等も求め懇談しました。

以下は寺本要求運動部長からの報告です。融資相談体制作りも、対象業者を選別している面も

申し入れと主な回答は

各支部から1〜2名(参加ください)

秋の拡大行動

会員訪問・対象者訪問

10月30日(日) 9時30分集合。

午前だけ、午後だけ参加もOKです。



申し書を渡す寺本部長(上写真の左)と、民商の役員ら(下写真の左)



Q①「コロナ・物価高騰対策のスピード感を持った資金供給を」
広銀「コロナ禍当初から特別貸付などの融資をしている。」
Q②「コロナ長期化で資金繰りが厳しい現状を考慮した支援を」
広銀「コロナ融資(ゼロ融資)の据置期間が終わる令和5年以降、支払いが発生する時期が心配。」
Q③「財務相談は実情をきめ細かく聞き、ニーズに合った資金供給を」
広銀「2億円以下の融資相談は、若い人にも分かるように、スマートフォンなどで融資相談が出来るよう考えている。行員の数は少なくなっている。」

Q④「中小業者に有利な融資制度の積極活用を」
他行の懇談も含め、県連で報告書がまとまりましたら改めてお知らせします。
【陶山記】



参加した婦人部役員のみなさん

第67回日本母親大会 in 埼玉・群馬
「気候正義」気候変動に対する負担や利益を公平に共有する」とは

10月15〜16日、日本母親大会が3年ぶりの会場参加とオンラインを併用して開催され、のべ1万4千人の参加でした。北民商婦人部は5名で、15日(土)の問題別集会「気候正義を求め」にオンライン参加しました。気象災害や気候変動による問題は、作物などにも影響し、戦争にも平和にもつながります。なぜここまで深刻化しているのか。気温が1度上昇すると大気中の水蒸気量が7%増加し、海水温が上がる

裏面で、飲食店の設備や、生活衛生関連業種向けの支援策を紹介しています。

量が多くなるために、台風や豪雨被害が大きくなる原因となっています。
発言者は、海から見る地球についてダイビング歴45年の中で「最初の20年間は素晴らしい。その後サンゴの白化現象が起き、この20年間はサンゴがほとんど死に、魚も減ってきた。沖縄でも同じことが起きてくる。太平洋の島々もプラスチックだらけ、日本は磯焼けで海藻が取れなくなる」と。私たちはCO2削減で、環境保全をめざす運動の呼びかけも必要だと思いました。ベトナム戦争で使われた枯葉剤。日本で作られ、余った枯葉剤は九州や中国地方を中心に全国の国有林54か所に埋められているそうです。豪雨災害が増え、気候変動で悪魔がよみがえる可能性が高い事も知らず暮らしている事は怖いことだと思います。
アピール「子どもたちに『核兵器も基地も原発も戦争もない平和で明るい未来』を手渡すために、ともに力をあわせよう」が採択されました。
【牛田記】